

特別研究員各位
(研究遂行経費の取扱いを希望しない者)

独立行政法人日本学術振興会
人材育成事業部研究者養成課

平成29年度4月期の提出書類について

特別研究員は、報告書の提出義務が課せられています。提出期間中に提出がない場合は、特別研究員の採用を取り消すとともに、支給済みの研究奨励金の返納を求める場合があります。

つきましては、「日本学術振興会特別研究員遵守事項および諸手続の手引」を確認の上、以下の書類を提出期間中に提出願います。

なお、提出の際は、必ず別添「送付シート」を角2封筒に貼付してください。提出期間ごとに分けて提出する場合は、「送付シート」を適宜コピーして使用してください。

【提出書類一覧】

通番	提出書類名	様式番号	提出期間	対象者
①	特別研究員 研究報告書 H27年度以前採用者用(平成28年度分)	様式9-1	4月1日～ 4月20日	全員
②	特別研究員の就職状況(調査票) ※1	様式9-3	4月1日～ 4月20日	採用終了者、 辞退者全員
③	在学証明書(平成29年4月1日以降の日付のもの) ※2	—	4月1日～ 4月10日	DCのみ

※1：特別研究員の就職状況(調査票) <様式9-3>

特別研究員の就職状況調査のために必要ですので、平成28年度採用終了者(辞退者を含む)は全員提出してください。

※2：在学証明書(DCのみ)

平成29年4月以降、特別研究員-DCとして継続予定の方は、継続資格確認のために必要ですので、平成29年4月1日以降の日付で作成された在学証明書(博士課程の入学年月日又は在学年次が記載されていること。休学期間がある場合は、休学期間を明記した在学証明書または休学期間証明書を添付)を、提出してください。なお、在学証明書(厳封されている場合は開封すること)の右上に「採用年度・資格・領域・受付番号」を必ず記入してください。

(本件問い合わせ先および書類提出先)
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-1
独立行政法人日本学術振興会
人材育成事業部研究者養成課 研究者養成第三係
TEL：03-3263-1905 FAX：03-3222-1986

よくある質問

1. 全般的事項

Q 1. 平成29年4月よりDCからPDに資格変更します。書類にはどのように記載すべきですか？

A. 変更後の資格であるPDを○で囲み、空欄にDC 1またはDC 2より資格変更予定の旨、付記してください。

Q 2. 提出書類の様式の電子データはありますか？

A. 本会HP (https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_tebiki/yoshiki/saiyouchu.html) から様式をダウンロードできます。なお、同封の様式または「日本学術振興会特別研究員遵守事項および諸手続の手引」の様式をコピーしたものを使用してもかまいません。

2. 特別研究員研究報告書(様式9-1)

Q 3. 片面印刷で提出してもよいですか？

A. 片面印刷での提出も可能です。ただし、ページの欠落がないように注意してください。

Q 4. 平成29年4月より、受入研究者を変更します。受入研究者の評価欄は誰に記入してもらうべきですか？

A. 平成28年度の研究報告書ですので、変更前の受入研究者が記入してください。
年度途中で変更していた場合は、平成29年3月31日時点の受入研究者が記入してください。

Q 5. <研究倫理教育教材の履修等に係る報告>とは何ですか。

A. 平成28年度中に、研究倫理教育教材を通読または履修したかどうかをチェックしてください。研究倫理教育教材とは、以下を指します。
・「科学の健全な発展のために一誠実な科学者の心得―」
日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会編の通読
※本会HP掲載のテキスト版の通読も含まれます。
テキスト版 (URL) <http://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html>
・研究倫理eラーニングコース(e-Learning Course on Research Ethics)[eL CoRE]等の履修
・CITI Japan eラーニングプログラム
・「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」(平成26年8月26日:文部科学大臣決定)を踏まえ研究機関が実施する研究倫理教育を履修

Q 6. 「6. 研究実施状況」は科学研究費補助金実績報告書のコピーを貼付して提出してもよいですか？

A. 様式C-7-1平成28年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(特別研究員奨励費)実績報告書(研究実績報告書)「9. 研究実績の概要」の箇所であれば問題ありません。なお、様式C-6(収支決算報告書)の内容は一切記載しないでください。

Q 7. 「9. アウトリーチ活動の実施状況」には、具体的にはどのようなものが記載できますか？

A. アウトリーチ活動は一般の人々や子ども、教員を対象とした公開シンポジウム、オープンキャンパス、研究室公開、出前講義、実験教室、サイエンスカフェ等が該当します。なお、アウトリーチ活動は採用期間中の義務ではありませんので、該当がない場合は「該当なし」と記載してください。

(記入例) 平成28年〇月〇日 〇〇研究所公開シンポジウム2016ポスターセッションにて発表